

干場さんと道重さん 町長に喜びの報告 「海・川の名人」に認定

聞き書き甲子園実行委員会から「海・川の名人」に選ばれた干場勝治さんと道重重一さんは10月23日、持木町長に名人認定を報告しました。

鍛冶職人の干場さんは、漁師の意見を聞いて新しい道具を開発したり、車での移動販売・修理を展開したりして能登の暮らしを支えています。道重さんは、伝統漁法「ヤツメウナギのカンコ漁」を受け継ぎ、激減するヤツメウナギの人工繁殖にも協力しています。



認定を受けた喜びを語る干場さん（右）と道重さん

和牛協会県支部と出品者 「宮城全共」の結果 町長に報告

全国和牛登録協会県支部は10月26日、役場能都庁舎で、9月に仙台市で行われた全国和牛能力共進会（宮城全共）の結果報告会を開きました。

同共進会への出場枠は能登町が独占し、駒寄正俊さんの「こま 5640」は第2区で2等賞受賞。第9区では、池崎裕治さんの「明生 188」と能登牧場の「干辰 400」が1等賞に入賞しています。藤田繁信支部長と出品者3名は、持木町長に成績を報告しました。



駒寄正俊さんら出品者3名は記録写真などで大会を振り返った

熱心に耳を傾け講師からノウハウを学ぶ参加者



家庭向けジビエ料理教室 お家でトライ ジビエ料理

11月3日瑞穂公民館でイノシシの肉を使ったジビエ料理教室が開催されました。農業被害をもたらすイノシシを食材として消費することで、里山資源の有効活用などにつながるとされており、今回、料理法を一般家庭に普及させることを目的に開催されました。

参加者は、いしかわジビエ利用促進研究会トータルアドバイザーの^{てんだ}点田賢司講師から活用する際の注意点や調理のポイントなどを教わりました。

大鏡餅を持ち上げ両面の出来栄ををいどる



鵜川 いどり祭り 来年の豊作を祈る

餅を口々にけなし合い、来年の豊作を願ういどり祭りが、11月7日鵜川の菅原神社で行われました。「いどる」とは「けなす・非難する」という意味で、参列した氏子らは今年の当元である谷屋・七見両地区の大小の餅に対してユーモアあふれる悪口を口々に浴びせました。直径1^ふ以上ある大鏡餅が出てくると「破けそうだ」などと氏子らによる出来栄の確認に熱が入り、見物客からも笑いが起こりました。

「のとも〜るスマイルプロジェクト」 商品お披露目会 能登の素材た〜っぷり 美味しい商品できました

能登ならではの食材を用いた商品開発プロジェクト「のとも〜るスマイルプロジェクト」の新商品が完成し、10月25日に役場能都庁舎でお披露目会が開かれました。町産のブルーベリーや赤崎いちご、唐辛子を使ったパンケーキとロールケーキ、なんば味噌がお目見えしました。

プロジェクトは能登を元気にすることを目的に、生産者と製造者、販売者、さらに行政や高校などが協力し、魅力ある商品を開発する取り組みで、開発された商品は県内のスーパーなど



商品が地域活性化につながる事を期待しPRする生徒

で販売されます。これまでに小木の「船凍イカ」を使った冷凍餃子や炊き込みご飯のもとなどが開発・販売されています。

商品キャラクターデザインの作成に携わった能登高校の生徒は「かわいく目を引くだけでなく、多くの人に情報を伝え、手に取ってもらえるデザインにするのが難しかった」と感想を話しました。



プロジェクトの取り組みが紹介されたほか、生産者が食材の魅力を発表した

西出宏さん 酪農優良経営表彰 質の高い牛乳を全国へ販売

鶴町の酪農家・西出宏さんは10月27日、役場能都庁舎を訪れ持木町長に、農林水産省などによる今年度の全国優良経営体表彰で「農林水産省経営局長賞」を受賞した喜びを語りました。

西出牧場では、化学肥料や農薬を使わずに育てた牧草にこだわり、乳牛を飼育しています。質の高い牛乳を生産し、全国の百貨店や洋菓子店に販路を拡大していることが評価されました。



全国優良経営体表彰を報告する西出さん

「当目の米」などをPRする夢を語る会のメンバー



当目夢を語る会 奥能登の物産を都内でPR

当目地区の住民グループ「夢を語る会」のメンバーは11月11日から二日間、東京・二子玉川で「能登フェア」を開き、同地区のブランド米「当目の米」など奥能登の物産品をPRしました。

同会を支援するドラッグストア「ココカラファイン 二子玉川店」前にテントを開設。米の年間購入者を当目の「特別住民」に認定して、観光案内などの特典を付ける取り組みも紹介しました。

ニュース

老人クラブ育成成功労者知事表彰
大屋百合子さん受賞

老人クラブ育成成功労者知事表彰を受賞した大屋百合子さん（宇出津）11月2日、持木町長に受賞を報告しました。大屋さんは「楽しく務められたのはみなさんのおかげ」と話し、会員の支えにより長年務めることができたことと振り返り感謝を述べました。

平成17年3月より能登町老人クラブ連合会の理事及び女性委員として長年役員を務めており、積極的に各種事業に参加し、会の活動推進に貢献した功績が評価され受賞しました。



受賞の喜びを話す大屋さん

ニュース

地域の防災力アップを目指し
防災気象講演会開催

クイズも交えた分かりやすい説明

町民の防災知識向上を目的に10月21日、役場能都庁舎で防災気象講演会が開催され、北陸学院大学社会学科の田中純一教授と裕川淑孝金沢地方気象台長が講演しました。

講演では防災の専門的な知識から素朴な疑問まで解説。居住地域はどういった場所に位置しているのか事前に確認し、自治体の指示の前であっても自主的に判断し避難行動を取る事の重要性や、警報レベルの正しい認識などに関する講演がありました。災害の多い昨今、いざという時に備え参加者は熱心に耳を傾けていました。

ニュース

他者を尊重し理解する
人権シンポジウム・講演会

それぞれの経験を交え、熱い討論が行われた

石川県人権擁護委員連合会が主催する人権シンポジウムと人権問題講演会が11月10日、役場能都庁舎で開催され、県内各市町の人権擁護委員や関係者ら約150人が出席しました。

シンポジウムでは4人の教育関係者が、家庭や地域、学校などで子どもたちの人権が阻害されないための対策や対応について討論。「国際理解教育」をテーマに行われた講演会では輪島市の吉岡教育長が講師を務め、国や文化、宗教などが異なる相手を理解し尊重できる教育を行う重要性などを講演されました。

ニュース

新しい連携を考える
協働のまちづくり講演会

11月1日役場能都庁舎で、「協働のまちづくり講演会」開催され、来場者約100人が新たなまちづくりを探りました。

ものづくりから数多くの新商品を開発し、新しい地域産学連携モデルを生み出した、東北大学教授の堀切川一男さんが講師を務め「地域産業の発見と活用」をテーマに講演しました。

堀切川氏が携わったプロジェクトの話聞いた参加者は、産学官連携による問題の解決や、身近な素材の活用によりまちづくりの新たな可能性を感じていました。



連携による可能性を語る堀切川さん

町と金沢地方気象台は、住民が自分の判断で適切な避難行動をとることを目標に、災害や気象情報に関する普及啓発に取り組んでおり、その一環として今回講演会が開催しました。

ニュース

日ごろの成果を披露
第13回能登町民文化祭

見事な作品が並んだ芸術部門

第13回能登町民文化祭が11月4日と5日の両日、内浦運動公園内の各施設を会場に開催され、のべ1,700人の来場者で賑わいました。内浦体育館で展示された芸術部門には約360点の出品があり多くの人が鑑賞に訪れました。芸術部門では内浦第二体育館で26の個人や団体が日ごろの練習の成果を披露しました。

ニュース

かけ声合わせ綱を引く
ドブネ引き入れイベント

11月4日、真脇遺跡縄文館横に保管されていた「能登内浦のドブネ」を旧真脇小学校グラウンドに建築された収蔵庫への引き入れイベントが行われ高倉地区住民やドブネを寄贈した波並大敷網組合関係者など約70人が参加しました。

ドブネは波並大敷網組合が定置網に用いていたもので長さ約14㍎、幅約2㍎60センチにおよぶ大型のもの。引き入れ後には、能登はひとつによる舞や真脇子供太鼓による力強い太鼓が演奏され引き入れに華をそえました。

能登内浦ドブネは伝統的な木造船の



息を合わせ引き入れていく

発達過程や当時の漁村の生業を理解するうえで貴重な資料とされており、国指定重要有形民俗文化財に登録されています。

今年は新たに、風景や人の美しさや躍動感を切り取った写真の展示があり、来場者を魅了しました。

ニュース

先人の行動を称える
久田船長碑前祭

青函連絡船の事故の際、船長として乗客や船員の命を守り殉職した久田佐助船長の功績を称える碑前祭が10月27日、鶴川の菅原神社横の久田船長碑前行われ、鶴川小学校児童、遺族、地域住民など約60人が参加しました。

久田船長の責任ある行動は、唱歌として語りつがれており、鶴川小学校の5年生の松井武留くんと鶴野莉奈さんが教科書を朗読しました。



勇気ある行動に思いをはせる

理由を述べ、審議の結果、原案のとおり可決されました。

■可決された議案…3件

- ・請負契約の締結について（平成29年度能登町新庁舎建設工事（建築））
- ・請負契約の締結について（平成29年度能登町新庁舎建設工事（電気設備））
- ・請負契約の締結について（平成29年度能登町新庁舎建設工事（機械設備））

能登高校魅力化プロジェクト・まちなか鳳雛塾

有名予備校講師が『まちなか鳳雛塾』にやってきた

まちなか鳳雛塾では、普段の講義にタブレットを使って、
動画による学習を積極的に取り入れています

この度、大手予備校の講師 森 雄介先生をお迎えし、高校生に地理の授業を行いました。森先生は普段塾生たちがタブレットを通じて学習している先生です。タブレットの動画では、見ている人が理解しやすいように地理学習のコツをちょっとした小技を使って分かりやすく説明されています。塾生たちは、先生から直接授業を受け、また、その小技を実際にリクエストするなど、『すごくわかりやすい』と好評でした。



高気圧を体を使って説明する森先生

12月のまちなか鳳雛塾スケジュール

！ 中学3年生については、定員オーバーのため募集停止しております。

塾生の保護者や入塾を考えている方は、授業見学随時可能です。お気軽にご相談ください。



まちなか鳳雛塾には
駐車場がありません

☎まちなか鳳雛塾 ☎ 0768-84-5282
(ひかり電話のため局番が「84」です。)
受付時間 ㊥～㊦の 16:00 ～ 22:00

まちなか鳳雛塾のホームページを開設しました !!
<https://hosujuku.wixsite.com/machinaka>

まちなか鳳雛塾

検索



平成30年 新春書初め大会

主催：柳田公民館

新しい年の初めにみんなで書初めしてみませんか。「いきいき書道教室」による書道パフォーマンスも開催します

日時 平成30年1月6日㊥ 受付 9:30 ～
※書道パフォーマンス 9:50 ～

会場 柳田体育館

参加対象 能登町内の小学生・中学生
参加費 300円 (大会当日 受付時に納入)
申込方法 学校ごとの申込みとなります。通われている各学校までお申し込みください。

申込期限 12月15日㊦
※課題字、書体、持ち物等大会に関する詳細については役場ホームページまたは柳田公民館までお問い合わせください。

☎柳田公民館 ☎ 76-0313

ニュース

園児が注意を呼びかけ 防火パレード

11月9日、火災予防を呼びかける小
木こども園の園児らによる防火パレ
ードが行われました。
パレードは秋季全国火災予防運動の
一環として行われたもので、園児らは
「火の用心」と元氣いっぱいので防
火を呼びかけながら小木地区を練り歩
き、住民の火災予防意識の向上を図り
ました。



声援を受けながらパレードする園児ら

お知らせ

平成30年町消防団出初式

日時 平成30年1月6日㊥午前9時
場所 能都体育館
※式典終了後に役場前「いやさか広場」
で一斉放水を行います。勇壮な姿をこ
覧ください。

入札結果

10月15日～11月14日

契約金額500万円以上の入札結果です。

全入札結果は町ホームページに掲載しています。 ☎監理課 ☎ 62-8504

件名	場所	担当課	契約額 (税込)	落札者
平成29年度 林道開設事業 林道赤畑線開設工事	当目	農林水産課	20,412,000円	(有)渡瀬建設
平成29年度 生活バス利用促進対策事業 能登高校南バス待合所建設工事	宇出津新港	企画財政課	6,555,600円	(株)鼎建設
平成29年度 能登町立小間生公民館 建設工事 (電気設備)	小間生	教育委員会事務局	14,217,120円	(株)浅倉電気商会
平成29年度 能登町立小間生公民館 建設工事 (機械設備)	小間生	教育委員会事務局	16,956,000円	四辻管工業(株)
平成29年度 能登町衛生センター改良工事 (外構)	藤波	環境対策課	9,234,000円	(株)鼎建設
平成29年度 町道松波布浦1号線 消雪施設機械設備工事	松波	建設課	26,973,000円	(有)能登電業社
平成29年度 町道松波布浦1号線 消雪施設電気設備工事	松波	建設課	9,882,000円	(有)広田電工
平成29年度 町道松波布浦1号線 消雪施設配管工事	松波	建設課	14,623,200円	(株)西中建設
平成29年度 町道松波布浦1号線 消雪施設整備工事	松波	建設課	12,960,000円	(株)西中建設
平成29年度 能登町新庁舎建設工事 (建築)	宇出津	総務課	2,021,760,000円	真柄・宮下・鼎 特定建設工事共同企業体
平成29年度 能登町新庁舎建設工事 (電気設備)	宇出津	総務課	455,868,00円	ムラモト・東亜・鳳珠 特定建設工事共同企業体
平成29年度 能登町新庁舎建設工事 (機械設備)	宇出津	総務課	378,000,00円	菱機・三宅 特定建設工事共同企業体
平成29年度 社会資本整備総合交付金事業 町道白丸2号線 道路改良工事	白丸	建設課	8,964,000円	興信工業(株)
平成29年度 生活基盤施設耐震化等交付金 水道施設等耐震化事業 配水管布設替工事 (その10)	鵜川	上下水道課	12,960,000円	山本鉄工所
平成29年度 農村総合整備事業 (条件改善型) 日詰脇地区 暗渠排水工事	柳田	農林水産課	8,510,400円	北能産業(株)
平成29年度 災害復旧事業 4630-9005 用水路災害復旧工事	宮地	農林水産課	5,313,600円	(有)能都左官
平成29年度 地方創生道整備推進交付金事業 町道越坂6号線 道路改良工事	越坂	建設課	15,098,400円	南山工務店



続☆星のささやき

「ふたご座流星群」

12月には「ふたご座流星群」が見られます。今年は月明かりの影響がなく、観察条件は良好です。その数がピークに達するのは日本時間で14日の昼過ぎに当たるので、13日の深夜から明け方と、14日の夜から深夜にかけて夜空を見上げると良いでしょう。

ふたご座流星群は、夜の早い時間帯から翌朝まで活動が見られます。冬至の頃で夜の時間も長いため、一晩で最も多く流れ星が見られる流星群です。流れ星としては平均的な速さで、夏のペルセウス座流星群に比べると派手さはありません。

今後少しずつ軌道がずれて、100年後には見られなくなると言われていましたが、近年なお多くの流れ星を流してくれる流星群です。一年を締めくくる天文ショー、お見逃しなく。



12月中旬午後8時 ふたご座の位置
(ステラナビゲーターで作図)

満天星へのお誘い

☆ふたご座流星群観望会

一緒にふたご座流星群を観察しましょう。

日時 12月13日⑥ 20:00～22:00
場所 星の観察館「満天星」
参加費 無料
その他 定員なし、予約不要（※時間内自由参加）
雨天曇天中止。暖かい格好でお越しください。

☆クリスマスキッズプラネタリウム

小さなお子様向けの楽しいプラネタリウムです。おしゃべりもOK。クリスマスのお歌も歌っちゃいましょう！！

日時 12月23日④ 14:00～14:50
場所 星の観察館「満天星」
参加費 大人500円、小中学生300円、幼児無料
その他 定員100人、予約不要、途中入場不可。

☆クリスマスCDコンサート in プラネタリウム

プラネタリウムの満天の星空の中で音楽を聴いて癒されましょう。カップルでお越しの方は半額です！

日時 12月23日④ 16:00～17:00
場所 星の観察館「満天星」
参加費 大人500円、小中学生300円、幼児無料
その他 定員100人、予約不要、途中入場不可。

満星の観察館「満天星」 ☎ 76-0101

特別企画

海洋深層水で土器製塩！

珪藻土コンロと能登式製塩土器（ミニチュア）を使い、海洋深層水で塩づくりをします（藻塩も選択可能です）。



珪藻土コンロ

日時 12月3日⑧ 13:30～15:30
対象 どなたでも可。小学校低学年以下の方は保護者同伴をお願いします。
定員 50人（土器1個あたり最大5～6人まで）
場所 のと海洋ふれあいセンター
参加費 ウォームシェア期間につき無料
入館料 200円（高校生以上の方）が必要です

申込先・詳しくはのと海洋ふれあいセンター ☎ 74-1919、FAX74-1920、E-mail: nmci@notomarine.jp

のと海洋ふれあいセンターのプログラム

一泊二日のわくわく体験☆

海藻・そば 体験

冬から春にかけて生長する海藻を観察し、クリスマスカードをつくります。そして能登少年自然の家でクリスマス会とそば打ち体験を行います。

日程 12月9日④ 13:30～10日⑧ 13:30
対象 どなたでも可。小学校低学年以下の方は保護者同伴をお願いします。
定員 20人
場所 集合：のと海洋ふれあいセンター
宿泊・解散：能登少年自然の家
参加費 1泊2日3食付1人1,910円（添い寝・食事なしの幼児は不要）
※日帰り参加も可能。ご相談ください。
申込み 要。12月2日まで
その他 持ち物、日程等詳細はお問い合わせ下さい。

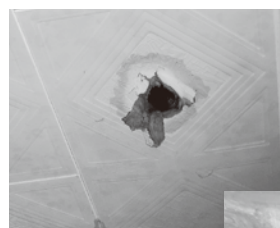
こうなる前にしっかり管理

あなたの所有する空き家にも

巣を作っていますか

空き家放置は
害獣の住みかになる可能性も

空き家登録された家を調査にいくと、時々天井にシミや穴があいている家があります。また、ある家では、天井裏に餌を仕掛けてもらった、体長70センチ以上もあるハクビシンが捕獲されました。



糞尿によって穴の空いた天井



捕獲したハクビシン

ハクビシンは、頭が入る小さな隙間があれば簡単に空き家に侵入します。そうして、屋根裏に侵入し巣を作ってしまうと、ハクビシンの糞尿によって天井が腐り、抜け落ちてしまうケースもあります。ハクビシンの凶暴性自体はアライグマより少ないとされていますが、多くの野生動物と同様にダニ・ノミ、多くの雑菌・病原菌を有していることがあります。私たち人に及ぼす健康被害が懸念されています。

害獣を寄せ付けさせないために
①建物周りの侵入口になる隙間（縁の下、換気口、軒下など）をふさぎましょう
②屋根に登れるような庭木の枝は剪定しましょう
③敷地内の果物の実は早めに収穫するか、網などをかけましょう
④ペットフードの残りや生ごみを外に放置しないようにしましょう

空き家は放置せず

活用できる財産に

町では、空き家は増加傾向にあります。離れて暮らしている所有者にとっては、「時折思い出す悩みのタネ」であるだけなのかもしれません。しかし、周辺への迷惑や、トラブルに発展しないように、所有者は次のような定期的なメンテナンスをしましょう。

①定期的に空き家を巡回する
②雑草を刈り取る
③カビ・湿気が発生しないよう風を通す
所有者自らがメンテナンス出来ない場合は、町シルバー人材センター ☎（76）2680にお問い合わせください。空き家を定期的に訪問し点検するサービスがあります。
当分住む予定の無い家をお持ちの方「ふるさと空き家情報」に登録を
当分住む予定が無い空き家を持つている方は、「ふるさと空き家情報」に登録しましょう。町は平成21年から、「貸したい」、「売りたい」と考えている空き家を登録していただき、移住者に照会するなどのお手伝

いをしています。登録申請されると、のと宅地建物取引業組合が調査し、登録された空き家は「ふるさと空き家情報」のホームページで公開しています。近所の空き家は、地域の過疎化や高齢化を食い止めるためにも、所有者の方に「ふるさと空き家情報」への登録を進めてください。空き家にある荷物で迷っている方
悩みを解決、登録を支援します
空き家に家財道具などが残っているため、空き家登録に二の足を踏んでいる方には、処分にかかる経費の2分の1以内、最大10万円を助成する「空き家家財道具等処分助成金事業」があります。

問い合わせ・申請

○「ふるさと空き家情報登録」、「能登町空き家家財道具等処分助成金」について
ふるさと振興課 ☎（62）8532

○町へのUターン相談や移住定住について
能登町定住促進協議会

☎（62）0260